



# 第61期 中間報告書

2018.4.1 ▶ 2018.9.30

## Communication & Security



B U S I N E S S   R E P O R T   2 0 1 8

**アイホン株式会社**

証券コード：6718



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

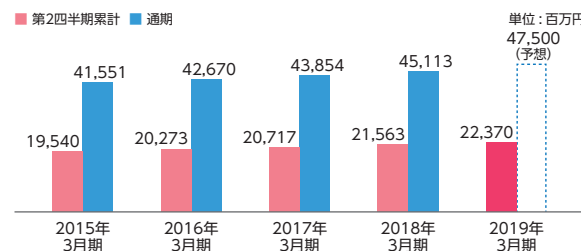
当社グループ第61期の事業における中間決算の概況をとりまとめましたので、ここにご報告申し上げます。株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

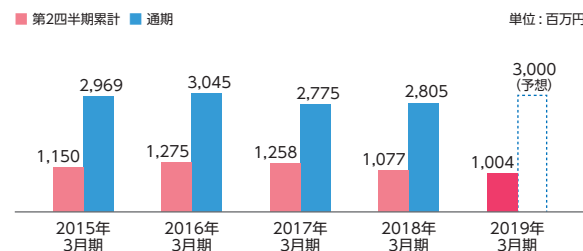
**市川 周作**

## 業績ハイライト

**売上高**  
223億70百万円 ▲ 過去最高  
(前年同期比3.7%増)



**営業利益**  
10億4百万円 ▼  
(前年同期比6.8%減)



## 中間決算の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益が高水準で推移し、雇用情勢も引き続き改善が見られるなど緩やかな景気回復が続きました。

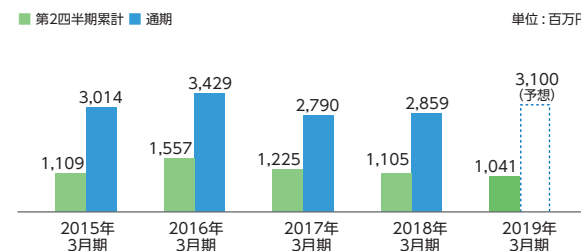
このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の当社グループ業績は、売上高は223億7千万円（前年同四半期連結累計期間比3.7%増）、営業利益は10億4百万円（同6.8%減）、経常利益は10億4千1百万円（同5.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億7百万円（同13.4%増）となりました。

### 国内市場の状況について

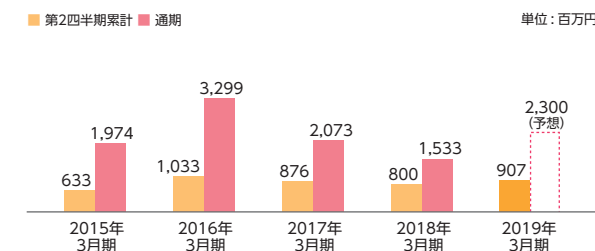
**住宅市場** 戸建住宅におきまして、新築では他社との競争が激しさを増したことによる販売価格下落の影響で売上は減少いたしました。一方、リニューアルでは、ワイヤレステレビドアホンの販売が好調であったことから売上が増加いたしました。新築の減少分を補うことができず、戸建住宅全体としての売上は減少いたしました。

集合住宅におきましては、新築では分譲マンションにおきまして機能とともにデザインを重視した新商品の販売が好調に推移いたしました。また、賃貸マンション・アパートにおきましても小規模マンション・アパート向けシステムの販売が順調に推移いたしました。リニューアルでは、分譲マンション向け新商品の販売が順調に推移したことに加え、これまで行ってきた賃貸マンション・アパートへの営業体制強化の効果が拡大し、販売が増加したことなどにより、集合住宅全体としての売上は増加いたしました。この結果、住宅市場全体といたしましては、売上は増加いたしました。

**経常利益**  
10億41百万円 ▼  
(前年同期比5.8%減)



**親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益**  
9億7百万円 ▲  
(前年同期比13.4%増)





**ケア市場** 病院におきましては新設着工数が減少する中、積極的な受注活動により新築、リニューアルともに売上は増加いたしました。高齢者施設におきましては、新築は伸び悩みましたが、リニューアルではIPネットワーク対応ナースコールシステムを軸とした営業活動が功を奏し売上が増加いたしました。高齢者住宅におきましては納入対象となる案件が新築、リニューアルともに減少したことにより売上が減少いたしました。この結果、ケア市場全体といたしましては、売上はほぼ前年同期並みとなりました。

### 海外市場の状況について

**北米** アメリカの販売子会社であるアイホンコーポレーションにつきましては、住宅市場において他社との競争が激化し、販売が伸び悩みました。しかしながら、社会的背景からセキュリティニーズがさらに高まる中、自社営業化による積極的な営業活動を展開してきたことにより、学校や店舗などへのIPネットワーク対応インターホンシステムやテレビドアホンの販売が好調に推移し、売上は増加いたしました。

**欧州** フランスの販売子会社であるアイホンS.A.S.につきましては、テレビドアホンの積極的なプロモーション戦略や公団住宅などを対象とした集合住宅システムの戦略的な受注活動が功を奏し、販売が好調に推移いたしました。

イギリスの販売子会社であるアイホンUKにつきましては、集合住宅向けシステムの販売が伸び悩み、売上は減少いたしました。

**その他** オーストラリアの販売子会社であるアイホンPTYにつきましては、集合住宅市場におきまして競争が激化し、販売価格が下落したことにより売上は微減となりました。

シンガポールの販売子会社であるアイホンPTE.につきましては、前年同期の売上に寄与した官公庁大型施設案件への納入が一段落するとともに、他社との競争が激化したことにより、売上は減少いたしました。



### 今後の見通しについて

**国内市場** 住宅市場及びケア市場におきましては、前期より導入しております「営業支援システム」を活用し、当社の多岐にわたる市場やお客様への活動情報を一元化することで、より合理的で質の高い営業活動を展開し、受注の拡大に繋げてまいります。

**海外市場** 様々な懸念事項による不透明さはあるものの、世界経済全体としては緩やかな拡大傾向が続くものと思われる。このような中、より地域に密着した営業活動を推進し、当社の強みを活かした物件受注のプロセス管理を強化し、受注拡大に繋げてまいります。

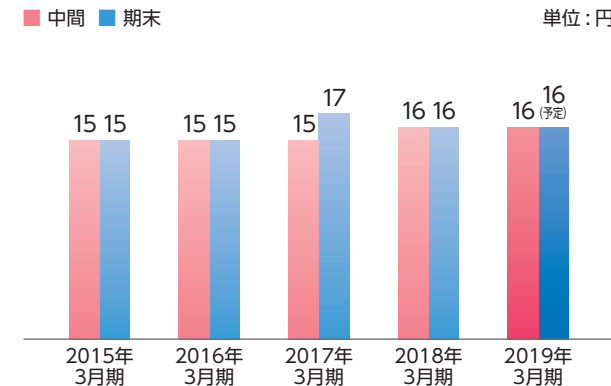
### 株主様への利益還元について

当社では、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要な政策と位置づけており、長期的な視点に立った安定的な配当を継続することに努めるとともに、経営基盤の強化と収益見通しを勘案しつつ積極的な配当を検討していくことを基本方針としております。

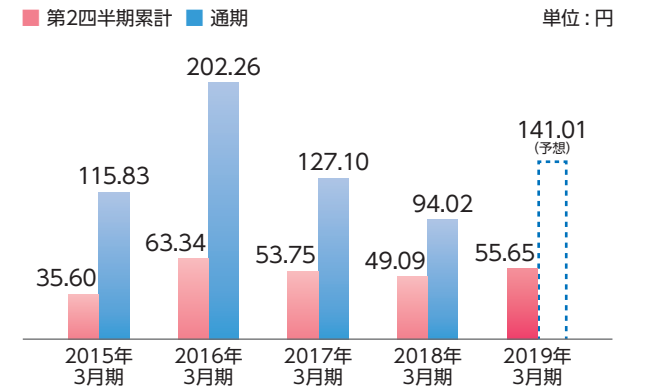
こうした考えの下、中間配当金につきましては1株当たり16円とさせていただきます。

なお、2019年3月期の期末配当につきましては、業績予想をふまえ1株当たり16円を予定し、年間では1株当たり32円の配当を念頭においております。

### 配当金

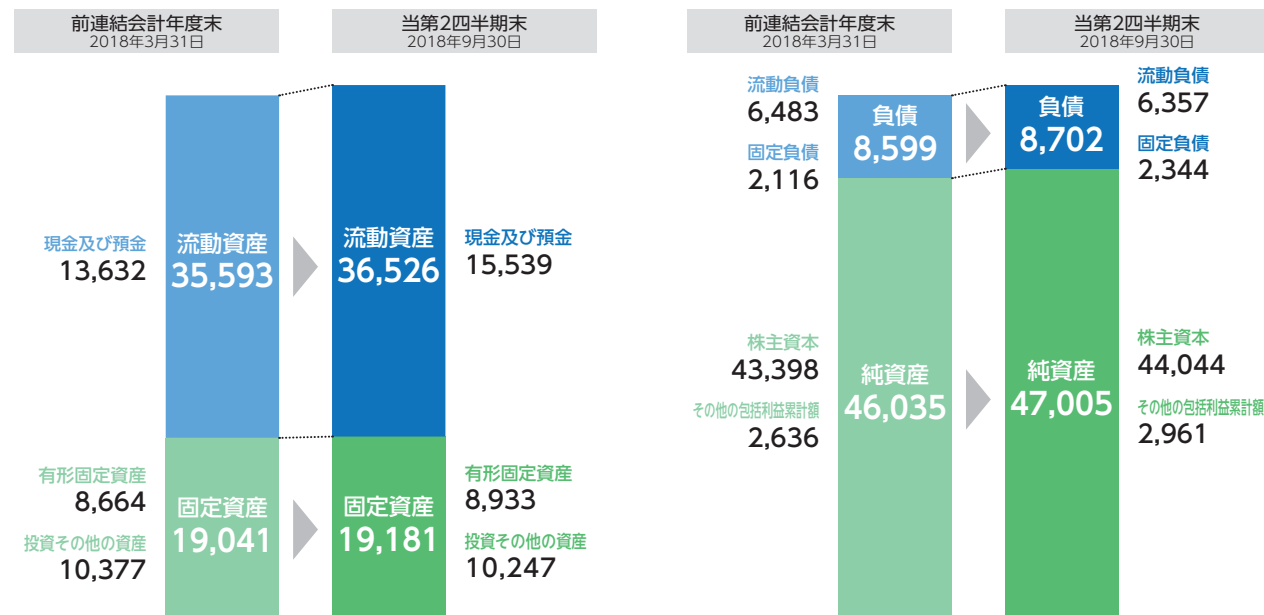


### 1株当たり四半期(当期)純利益



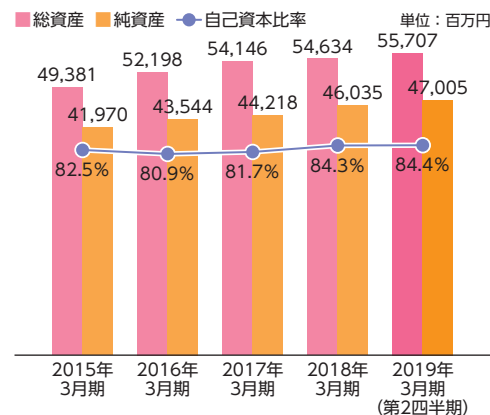


## ■ 連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



※ 「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

## 総資産・純資産・自己資本比率

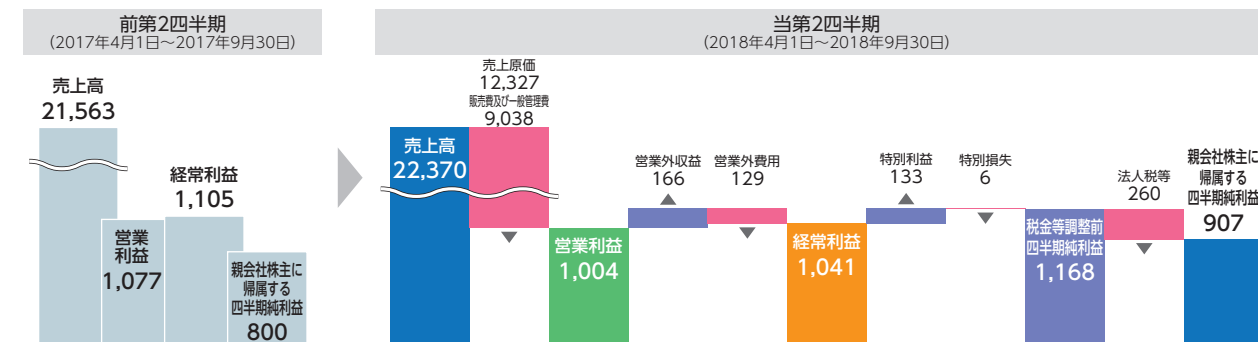


### 解説

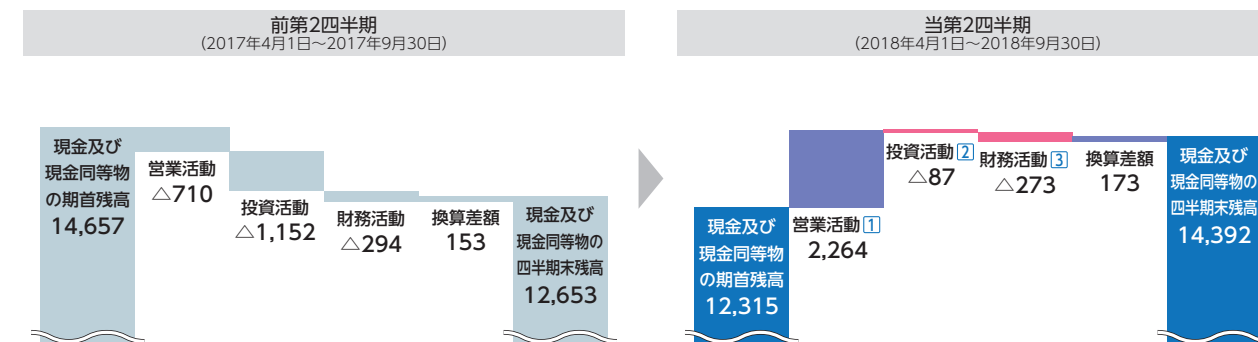
- <総資産>主に、現金及び預金が19億6百万円増加、たな卸資産が5億9千4百万円減少したことなどにより、前期末に比べ10億7千3百万円増加いたしました。
- <負債>主に、繰延税金負債が1億2千4百万円増加したことなどにより、前期末に比べ1億2百万円増加いたしました。
- <純資産>主に、利益剰余金が6億4千6百万円増加、為替換算調整勘定が5億8百万円増加したことなどにより、前期末に比べ9億7千万円増加いたしました。



## ■ 連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



### 解説

- ① 主に、税金等調整前四半期純利益11億6千8百万円の計上、たな卸資産の減少額7億4千5百万円、減価償却費4億2千7百万円の計上などがあったことにより、営業活動の結果、最終的に得られた資金は22億6千4百万円となりました。
- ② 主に、有形固定資産の取得により支出6億2千5百万円があったものの、有価証券の売却及び償還による収入5億円などがあったことにより、投資活動の結果、最終的に使用した資金は8千7百万円となりました。
- ③ 主に、配当金の支払額2億6千万円などにより、財務活動の結果、最終的に使用した資金は2億7千3百万円となりました。



## 集合住宅用インターホン

2018年10月発売

# VIXUS ADVANCE

ヴィクサス アドバンス



インターホンが最上級の『おもてなし』を提供

### 主な特長

- ・ 宅外スマートフォン通話・映像連動
- ・ 業界最薄12mm (※) のモニター付居室機
- ・ 建物内の施設予約が可能
- ・ 上質なエントランスを演出するデザイン

※対象品番：VKZ-R 露出部のみ（埋込部は除く）



## 業務市場用インターホン

IPネットワーク対応インターホンシステム

# アイエックス IXシステム

インターホンの概念を変える『インターホン』

### 主な特長

- ・ 高画質カメラ、受付、トイレ呼出機能搭載
- ・ 多様な端末バリエーション
- ・ サーバーレスで省スペース、省施工、低コスト

2018年10月発売



## 品質管理の世界最高ランクの賞「デミング賞」受賞

当社にとって1981年のデミング賞実施賞中小企業賞の受賞以来2度目の受賞となります。2015年8月から全社一丸となって製品、サービス、業務、人材などあらゆる分野の更なる品質の向上に取り組んでまいりました。今回の受賞は、その取り組みと成果を評価いただいたものと考えております。

今後も※TQM活動強化の取り組みを通じて、全てのステークホルダーと社会に対する貢献を続けていくとともに、当社の永続的な発展を目指し事業活動に邁進してまいります。

※経営管理手法の一種。Total Quality Management=総合的品質管理を指す。



## 主な出展展示会のご紹介

1

### 賃貸住宅フェア 2018 (東京・大阪)

2018年 6月12日～13日 東京ビッグサイト  
2018年10月11日～12日 インテックス大阪

賃貸オーナーや不動産会社が経営するために必要な商材やサービス等を集めた日本最大級の展示会に出展いたしました。今後も需要の拡大が予測される集合リニューアル市場での更なる売上拡大に向け、賃貸オーナーや管理会社との新たな関係構築を図ることができました。



2

### 国際モダンホスピタルショー2018 (東京)

2018年7月11日～13日 東京ビッグサイト

病院をはじめ、医療・福祉分野等における質の向上、充実に役立つシステム・サービス等を幅広く展示し、最新情報を発信いたしました。開催当日は、多くの医療・福祉関係者が当社に興味を持っていただき、昨今の医療経営問題や健康福祉社会への取り組み等についても情報交換を実施することができました。





概要

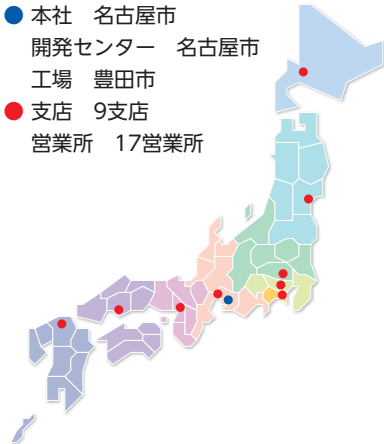
社名	アイホン株式会社 AIPHONE CO.,LTD.
創立	1948年6月1日
本社所在地	名古屋市中区新栄町1-1 明治安田生命名古屋ビル
資本金	5,388,844,000円
従業員数	1,953人(連結) 1,098人(個別)

事業の内容

1	通信機器、音響機器、電子応用機器並びに各種電気機器の製造、据付工事、請負、修理、売買及び輸出入。
2	情報通信、情報処理及び情報提供のサービス並びにインターネットの接続仲介業。
3	コンピュータシステム機器及びソフトウェアの設計、開発並びに販売。
4	前各号に附帯する一切の業務。

国内ネットワーク

- 本社 名古屋市  
開発センター 名古屋市  
工場 豊田市
- 支店 9支店  
営業所 17営業所



海外ネットワーク (連結子会社) ● 販売子会社 6社※ ● 生産子会社 2社



※販売子会社である「愛峰(上海)貿易有限公司」は解散手続き中です。

役員

代表取締役社長執行役員	市川 周作
取締役常務執行役員	寺尾 浩典
取締役執行役員	和田 健
取締役執行役員	加藤 康次
取締役	入谷 正章
取締役	山田 潤二
常勤監査役	小島 明宏
監査役	立岡 亘
監査役	石田 喜樹
監査役	加藤 正樹
執行役員	加藤 淳夫
執行役員	谷口 尚弘
執行役員	吉澤 誠

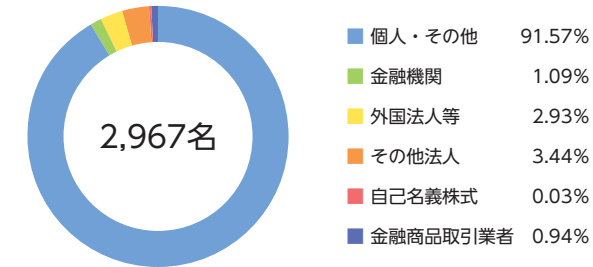
※1. 入谷正章氏、山田潤二氏は、社外取締役であります。  
2. 立岡 亘氏、石田喜樹氏及び加藤正樹氏の3名は、社外監査役であります。



株式及び株主

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式総数	18,220,000株
株主数	2,967名

所有者別分布状況



株主の皆様のお声を聞かせてください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 6718

いいかぶ 検索

空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2カ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細<https://www.a2media.co.jp>)  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-6779-9487(平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

大株主

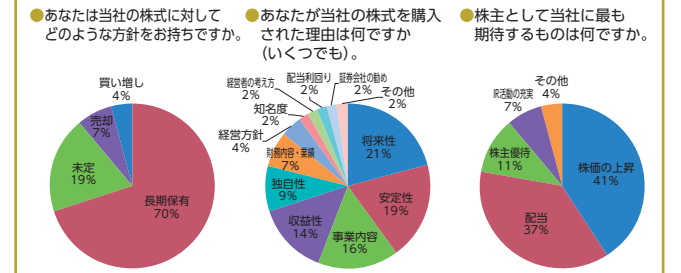
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
市川周作	2,695	16.52
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,221	7.48
アイホン従業員持株会	756	4.63
株式会社みずほ銀行	526	3.22
三菱UFJ信託銀行株式会社	507	3.11
日本生命保険相互会社	490	3.00
第一生命保険株式会社	430	2.63
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	380	2.33
住友生命保険相互会社	364	2.23
株式会社三菱UFJ銀行	354	2.17

注1:当社は自己株式1,909,350株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。  
注2:上記大株主の状況に記載の市川周作氏の所有株式数は、本人及び親族が株式を保有する資産管理会社のイチカフ株式会社が保有する株式数2,250千株を含めた実質所有株式数を記載しております。

アンケート結果のご報告

第60期決算報告書の発行後、「いいかぶ」アンケートを通じて株主の皆様よりさまざまなお声を頂戴いたしました。あらためてお礼を申し上げますとともに、アンケート結果のご報告を申し上げます。また、今後とも株主の皆様のお声を反映した企業活動並びにIR活動に努めてまいります。

アンケートの集計結果



当社に寄せられたご意見

- 配当に魅力を感じられない。
- 他社に負けないオリジナリティ溢れる商品を開発してほしい。

## 株主メモ

事業年度 4月1日から3月31日まで

期末配当金受領株主確定日 3月31日

中間配当金受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
同 連 絡 先 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)  
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所市場第一部  
名古屋証券取引所市場第一部

電子公告により行う

公告掲載URL

公告の方法 <https://www.aiphone.co.jp/>  
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。)

### 【ご注意】

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ウェブサイトのご案内

ウェブサイトにて当社の企業情報を随時開示しています。商品紹介や展示会情報等を掲載しているほか、株主・投資家情報のページでは決算短信等がご覧いただけます。

<https://www.aiphone.co.jp/>



〈トップページ〉



〈株主・投資家情報〉



〈個人投資家のみなさまへ〉

### ■ 受賞・認証



品質管理の最高賞  
デミング賞受賞



JQA-0291  
該当製品:  
標準品・受注品



JQA-EM0453  
本社部門 豊田工場  
大宮サイト 開発センター



### ■ 商品の修理受付・ご相談

#### 修理受付センター

☎ 0120-037-704  
FAX 0120-098-990

- 受付時間 午前9:00~午後5:30
- 年中無休(365日)受付

土曜、日曜も受け付けております。

#### お取り扱いなどのご相談は お客様相談センター

☎ 0120-141-092

(携帯電話からは0565-43-1900へおかけください)

- 受付時間 午前9:00~午後5:30
- 土・日、祝日、及びお盆・年末・年始、ゴールデンウィークを除く。



ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙

FSC® C013080